


あだち放課後子ども教室
地域で育もう！
ふれあいの輪を広げよう！

「あだち放課後子ども教室」は、地域の方々の協力を得ながら運営されており、子どもたちが自主的に活動する場です。

今月のテーマ 
地域の人が
“放課後子ども教室”を応援！

子どもたちの活動を見守る安全管理スタッフは、各小学校の保護者や地域の人たちです。さらに、子どもたちの多様な体験の場をつくろうと、別の形で放課後子ども教室を応援する人たちもいます。今回は、西保木間小学校放課後子ども教室(以下、『にしほキッズ』)の取り組みを紹介します。

● **子どもたちの活動を盛り上げたい！**

放課後子ども教室は、各校の開かれた学校づくり協議会委員、PTA会長や青少年委員など地域の人による実行委員会が運営しています。

にしほキッズの実行委員会では、「子どもたちの活動をもっと盛り上げたい」「卓球を教えてくれる人がいたら子どもが喜ぶのではないか」という意見がありました。そこで、開かれた学校づくり協議会会長であり実行委員も務める土田さんの特技を活かした『卓球教室』と、PTA会長の久保田さんがクラブで活動している『ビーチボールバレー教室』を月1回開催することになりました。



やさしく教える土田さん

スタッフを募集している放課後子ども教室があります。

詳しくは下記までご連絡ください。

問い合わせ (公財)足立区生涯学習振興公社 放課後子ども教室担当

☎5813-3732 (平日 午前9時～午後5時)

● **ボールを返せるとうれしい！**

土田さんは長年、地域の卓球クラブで活躍されてきました。子どもたちと卓球を通じて関わられたら楽しいだろうと指導を引き受け、にしほキッズに来るようになりました。打ちやすいボールを出してもらい順番に基本の練習を続けていくと、初めはボールを上手く返せなかった子ども、徐々に打てるようになり、いつの間にか表情も真剣に。

子どもたちからは、「今度はいつやるの?」「早く試合をしてみたい!」などの声があがり、楽しい時間を過ごすことができたようです。



構えもかっこよくなりました

● **ラリーが続くと楽しい！**

久保田さんのビーチボールバレークラブの人たちが手伝いに来て、ボールの打ち方やルールを教えてくださいました。高学年は少し練習した後、チームに分かれて試合をしました。クラブの人がチームに入り声をかけながら一緒にプレーすると、ラリーも続くようになり、ゲームを楽しむ体験ができました。

低学年は輪になってボールを打ち、下に落とさない練習から。大人がサポートに入り上手にリードしてくれると、ボールもつながり面白さが倍増。みんな笑顔でボールを追いかけていました。



低学年はバスの練習から

いつもの放課後子ども教室に、新しい体験や交流が加わることで、子どもの活動がさらに広がります。大勢の地域の人が、子どもたちを応援しています。